

# 令和 4年度 指定管理者評価表

【別紙5】

施設名：河内長野金剛霊殿

指定管理者名：富士建設工業株式会社

## 1. 個別評価

評価項目	評価の視点	自己評価	市評価
サービスの提供	施設の設置目的に沿って平等利用が確保されたか。	A	A
	施設の設置目的に沿ってサービスを提供しているか。	A	A
	利用時間、利用日、利用期間は遵守されているか。	A	A
	利用者に対する情報提供、情報発信は適切か。	A	A
	利用の承認、案内等は適切かつ迅速か、また接遇は適切か。	A	A
	利用者のニーズを把握し、改善、工夫を行っているか。	A	A
	施設の利用率は適正な水準にあるか。	A	A
	苦情等の対応は迅速かつ適切か、また市に迅速に報告しているか。	A	A
	指定管理者が行った自主事業は、市民サービスの向上に役立ったか。	A	A
施設等の維持管理	不具合が生じた場合の市への報告は適切か。	A	A
	建物躯体及び設備機器の点検・保守、安全確認等は適切か。	A	A
	修繕は適切か。	A	A
	備品の管理は適切か。	A	A
	清掃、警備、衛生管理は適切か。	A	A
労務状況	サービス提供及び施設の維持管理のため、計画どおり適正な人員が配置されているか。	A	A
	勤務体制が、勤務者の休暇、休憩等の取得が適正か。	A	A
	必要な専門的資格、技術を有する人材を確保しているか。	A	A
	従業員に対して、計画的、効果的な人材育成を行っているか。	A	A
危機管理	緊急時に備えた、体制、対応マニュアル、研修・訓練等は適切か、また、防火、防犯体制の整備、研修、訓練等は適切に行われているか。	A	A
	災害、事故、盗難等の発生時に迅速な対応ができる組織体制と連絡体制になっているか。	A	A
	利用者の安全は確保されているか。	A	A
個人情報	個人情報保護のための体制、書類等の整備・保管、問い合わせ等への対応、研修は適切か。	A	A
	個人情報保護及び情報公開に関する関係法令を理解しているか。	A	A
	万が一、個人情報が流出した場合の対応が検討されているか。	A	A
財務状況	管理に要する収支は適正に保たれているか。	A	A
	支払いの遅滞は生じていないか。	A	A
	使用料、利用料金収入は計画どおりか。収入の増加が図られているか。		
	現金は適正に取扱われているか。	A	A
	経費は縮減されているか、または、縮減に向けての努力がされているか。	A	A
	業務を外部委託している場合、その業務は施設管理の主要な部分以外であるか、過度に外部委託にシフトしていないか。	A	A
その他	省エネルギー、省資源、環境配慮物品等の購入など環境への配慮はなされているか。	A	A
	良好な関係を保つべき関係団体や地域との連絡調整は適切か。	A	A
	管理に要する法令は適正に遵守されているか。	A	A
	市との定例の連絡調整の機会が確保されているか。	A	A
	事業計画書（申請時）および年間事業計画書どおりに管理がなされているか。	A	A

### 評価欄の説明

- S：協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
- A：協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
- B：協定等を遵守し、概ね仕様書に沿った管理が行われたが、一部に課題がある。
- C：一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。

## 2. 収支報告

単位:円

		事業計画A	事業実績B	A-B	前年度実績	備考
収入	利用料金収入	0	0	0	0	
	自主事業収入	93,000	115,123	(22,123)	121,848	
	物品販売収入	0	0	0	0	
	手数料収入	0	0	0	0	
	指定管理料	53,087,000	53,087,000	0	51,578,000	
	その他収入	0	0	0	0	
	<b>収入総額</b>	<b>53,180,000</b>	<b>53,202,123</b>	<b>(22,123)</b>	<b>51,699,848</b>	
	支出	人件費	21,378,000	23,156,364	(1,778,364)	22,626,708
事務費		1,860,000	1,211,976	648,024	1,516,942	
管理費		15,720,000	15,021,290	698,710	13,652,890	
自主事業経費		131,000	14,569	116,431	15,089	
光熱水費		13,176,000	20,777,175	(7,601,175)	14,514,753	
リース料		915,000	789,360	125,640	853,536	
その他		0	0	0	0	
<b>支出総額</b>		<b>53,180,000</b>	<b>60,970,734</b>	<b>(7,790,734)</b>	<b>53,179,918</b>	
<b>収支差額</b>	<b>0</b>	<b>(7,768,611)</b>	<b>7,768,611</b>	<b>(1,480,070)</b>		

## 3. 総合評価

## 自己評価

昨今の原油価額の高騰により、電気料金及びガス料金が上昇し、光熱水費が大幅に必要となりました。事務費、管理経費などを削減し赤字となった費用を解消するように職員一同で努めましたが、大きな赤字金額を補填することができませんでした。ご利用者の皆様にも、手指の消毒やソーシャルディスタンスをご協力していただき、1年間を通し施設内感染を発生することはありませんでした。また、職員には検温や体調ヒアリングを実施することにより、感染することなく業務を遂行することができました。火葬炉運転業務におきましては、火葬炉メーカーとして環境に配慮しながら設備保全に努めました。1年間を通して無事故で運営することができました。今後も継続して市民からの要望及び葬儀業者からの意見を分析し、市民サービスを向上させるよう努めて参ります。

令和4年度においては、8月の落雷事故により空調や火葬炉のコンプレッサー等さまざまな設備の故障が発生したが、臨機応変に対応いただき、大きなトラブルもなく無事火葬業務が執行できたことは高く評価できる。原油価格高騰による光熱水費が負担増となるなか、経費削減等の企業努力をされており、また徹底した感染症対策により、新型コロナウイルスの施設内感染ゼロ、職員についても感染することなく業務を遂行された。厳しい外的要因のなか、施設の維持管理、内部事務等質を落とすことなく業務を遂行されていると評価できる。令和5年度からも火葬件数が増加傾向にあるなか継続して質の高い市営斎場の管理運営業務を遂行していただくことを期待する。